

# 図書館通信

# 94

1990. 12

## 開架閲覧室(5F) 西側壁面に注目！！

■ このほど、開架閲覧室の西側の壁面に、新たに5枚の絵が展示されました。それらの絵を紹介します。

→ 4ページをご覧ください

### ベスト 5

1. ホーキング、宇宙を語る (19回)
  2. 渡辺昌昭: 理工系わかりやすい物理学 I (17回)
  2. 竹之内脩: 線形代数 (17回)
  4. 立花隆: 脳死再論 (16回)
  4. エーリッヒ・フロム: 愛するということ (16回) B
- ※4月1日から11月10日までのE間の館外貸出ベスト5です。S
- この間の総貸出冊数は28,941冊、タイトル数 T  
では15,782。うち貸出1回のが9,459 5  
2回のもの3,277タイトルでした。

◎ そのほかの

## 本号の内容

- ◆ 浜松分館から... 2-3ページ
- 分館の近況
- 雑感 田畑雅庸
- ◆ 無人入退館装置について 7ページ
- ◆ 冬期休業中の長期貸出等について 8ページ

## CD-ROM

### 続報 . . .

■ 前号でお知らせしたCD-ROMについて、問い合わせが相ついでいます。本号では、教育研究学内特別経費で購入予定のものを中心にのべます。

→ 6ページをご覧ください

## ■浜松分館から■

通信制御装置等の準備が整い、この4月から、分館でも目録作業等のコンピュータ化が始まりました。この点を中心に浜松分館の最近の状況をお知らせします。

### 学術情報センターとの接続業務

学術情報センターとの接続そのものは、すでにできていたが、接続を利用した業務を始めたのは、今年度にはいつからである。本館で業務を始めた時、いろいろなトラブルが生じたので、当初、少なからず懸念があった。右図を見ていただきたい。本館と学情センターとの間だけでもトラブルがあるとしたら、分館と学情センターとの間で起きないと思えることには無理があろう。分館の端末を出たデータは、まずDSU(回線終端装置)を通過しDDXを通り、再びDSUを経て本館の中央処理装置に達し、そこで改めて学情センターへ接続に行くのだ。

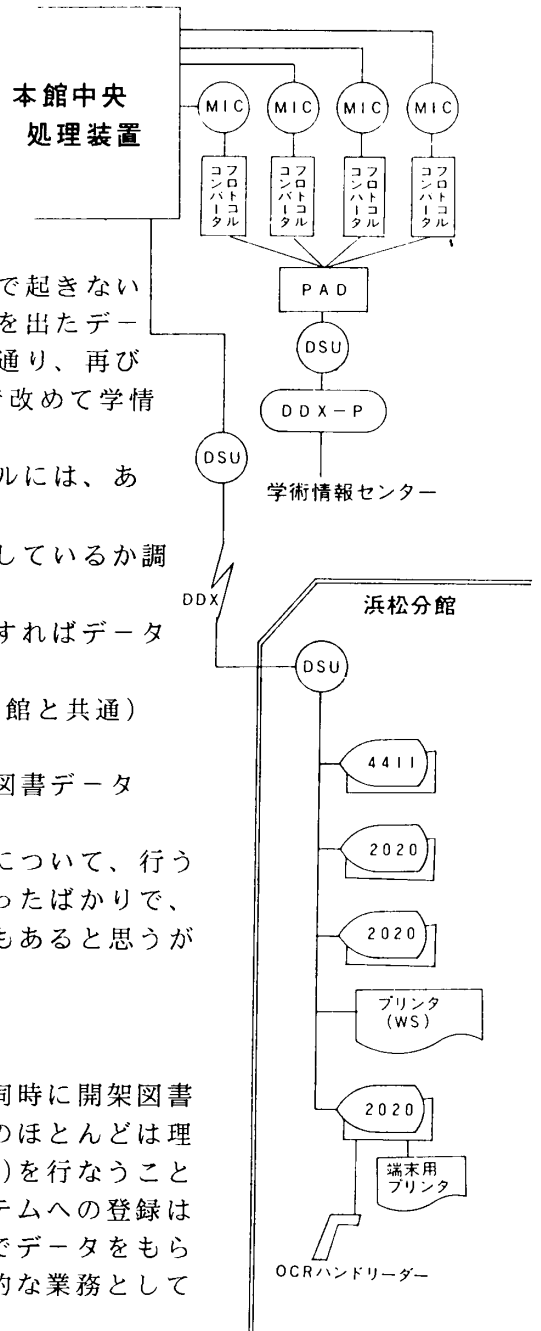
ところが、ほとんどトラブルらしいトラブルには、あわずに経過している。

- (1) 本館のデータベース上(LOOKSU)に存在しているか調べる。(複本調査)
- (2) 学術情報センターにアクセス。ヒットすればデータを本館のディスク上にダウンロードする。
- (3) ダウンロードしたデータを、静大用(本館と共通)データに加工し、LOOKSU上に登録する。
- (4) 登録したデータは、書誌のみなので、図書データを付加する。これは分館独自のもの。

以上が、業務の概略で、すべての受入図書について、行う予定。トラブルが少ないとは書いたが、始まったばかりで、不慣れな点もあるので、ご迷惑をかけることもあると思うが長い目で見ていただきたいと思う。

### 開架図書のデータ入力始まる

上記は、新規受入分のはなし。分館では、同時に開架図書のデータ入力も始めている。分館の開架図書のほとんどは理科系の基本的な学術書なので、上記の(1)(2)を行なうことによって、データの獲得が可能。静大のシステムへの登録は後日、学情センターから磁気テープのかたちでデータをもたらったあとで、一括して行なう予定なので、日常的な業務として



は、ここまで。全部で13,000冊の予定で、当初、数年がかりを考えていたが、現在、約5,000冊の作業が終了している。思いのほか早く終了しそうである。学術情報センターの成果というべきか、...

### 高柳健次郎名誉博士の記念品展示

情報処理センターが、高柳記念館の建物に入るのに伴い、記念品の一部が分館に展示されることになった。今年6月からで、正面玄関左側カウンターの並びに展示されている。

主な展示物は、博士の肖像、研究時の写真、博士が世界で最初に映像を写した当時のブラウン管、などである。

2×2メートル程度のコンパクトなかたちでの展示だが、貴重な品物も含まれているので、是非、見て頂きたい。

雑佳

感

田畑 雅庸 (分館係長)

去る9月秋雨前線の刺激による豪雨で三島市の大場川の護岸が決壊、川沿いの民家が浸水などの災害を受けました。このニュースをテレビで見ている、岐阜工専に勤務していた当時、やはり集中豪雨で長良川の堤防が決壊した時のことを思い出しました。たまたま日曜日で当直勤務に当たっていましたので出勤しましたが、岐阜駅からの郊外行きバス電車はすべて運休、タクシーも途中で降ろされてしまい、ひざまで泥水に浸かりながら歩きましたが、地元消防団の人々に行く手を阻止され、やむをえず引き返したことがありました。

それより12年前の4月名古屋大学経済学部の図書掛員として勤務を開始しました。当時全国の社会科学系の大学図書館の有志で経済資料協議会という会を結成、経済学に関する文献目録を編集発行していました。その会で日本経済統計の目録を編集することになり、「鉱工業・エネルギー産業編」を担当しました。明治42年から昭和22年までを対象とする統計書とそれらの所蔵館の調査で、多くの図書館のご協力をいただきました。特に、国会図書館の書庫に立ち入りを許可され、調査したことが当時の一番の思い出として残っています。調査を開始して8年目京都の同朋舎より第1版が書誌編と所蔵編に分冊発行され、一部贈呈されました。

50年の秋、岐阜工専に勤務、先の長良川の堤防決壊に遭遇するわけですが、工専のある岐阜県本巣郡真正町は古くは夏の果物として賞味された真桑瓜の原産地であり、又岐阜県の無形文化財に指定されている真桑人形芝居、通称「真桑文楽」が古くから伝承されています。創立二十周年記念式典に招かれた折、記念行事の一端として上演され観賞する機会がありました。

その後豊橋技術科学大学に転出、電算機とのおつき合いが始まりました。蔵書数の少ないうちのマスターファイルの入力をする事になり目録カードに著者、書名、出版社等のタグ付けをし業者に委託、開学当初家に持ち帰って作成した目録カードも、間もなくカードケースと共にお蔵入りとなりました。これも時代の流れでしょう。

## ◎開架閲覧室の絵画について

このほど展示された絵画は、本学教育学部の長岡宏・東俊光両教官が描かれたもの。

長岡教官は東京芸術大学美術学部絵画科の出身、東教官は東京芸術大学大学院美術研究科の出身でモダンアート協会会員。

### ■ 長岡教官作品

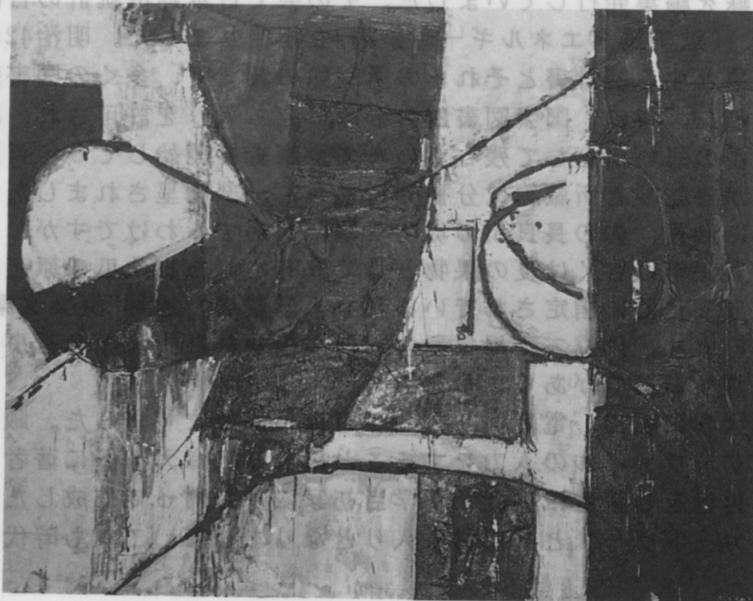
「25年前の作品で、描写絵画からの脱皮を試みる中で生まれた。

若い情熱と、赤と青だけの不定形を多様な技法で構成した。」

作品A



作品B



■ 東教官作品



朝の静物

朝の静物 (1) 150cm x 100cm 油彩 (2) 150cm x 100cm 油彩 (3) 150cm x 100cm 油彩 (4) 150cm x 100cm 油彩

夜想曲 (1) 150cm x 100cm 油彩 (2) 150cm x 100cm 油彩 (3) 150cm x 100cm 油彩 (4) 150cm x 100cm 油彩



夜想曲



グラスと地球儀

グラスと地球儀 (1) 150cm x 100cm 油彩 (2) 150cm x 100cm 油彩 (3) 150cm x 100cm 油彩 (4) 150cm x 100cm 油彩

# CD-ROMについて：続

——教育研究学内特別経費で購入予定のソフトを中心に——

- (1) 記憶容量が552Mバイトと大容量。
- (2) 射出成型プラスチックからなり、大量複製が容易。
- (3) 光学式非接触再生なので摩耗劣化がない。
- (4) 本に比べて検索性に優れる。

以上は、ある本にCD-ROMの特長として掲げられていたもの。

前号では、(1)に主眼を置いたが、本号では(4)に重点を傾けて話を進めようと思う。

## CD-HIASK '89

本図書館でもっとも利用頻度の高い資料のひとつが「朝日新聞」の縮刷版で、昨年まで書庫に置かれていたが、今年から4階の雑誌コーナーに並べられるようになり、以前にも増して使われるようになっている。

何月何日に起きた某出来事。それを調べたい、というのなら簡単なのだが、日付けが不確かになると、がぜん使いにくくなる。他紙の縮刷版と比べ格段に詳細な索引目次がついているが、それでも目的とする記事を見つけるのに、悪戦苦闘している学生の姿を、よく見かける。

CD-HIASK'89は朝日新聞の1989年1年分の記事情報をフルテキスト(全文)で収録し、東京本社発行の朝・夕刊最終版からスポーツ、婦人家庭面を除く政治、経済、社会、国際、科学面のニュース記事を収めている。それと共に86年以降の記事タイトルも収録。86-88年の記事タイトルと89年のフルテキストの検索が可能ということになる。

約850項目で構成される主題分類、199項目の国名分類、連載・解説・用語・死

亡、などからなる記事別分類の、3つをつかった分類語検索と、思いついた言葉を入力する自由語検索ができ、両者の組合せによる検索も可能。

なにがしかの単語を入力し、該当する記事のデータがでてきて、それが89年のできごとなら、そのままプリントアウトすることで本文を手に入れることになるし、88年以前だったら縮刷版を見ていただくことになるが、掲載の日付けが判明しているので、苦になる作業ということにはならないだろう。

## 模範六法「CD-ROM」版

「模範六法(1990)」の本文(法令・判例参照条文)をすべて収録している。

自由語による検索、事項索引からの検索、判例・先例からの検索、法令の改正年・法令番号による検索、被参照条文の検索が可能である。最後のものは、ある条文が、他のどの条文の参照条文になっているかを検索するもの。参照するよう示している条文に遡っていくことができ、当該条文とその参照条文を画面を2分割して同時に見ることもできるというユニークな機能を持っている。

法律の素人には、自由語による検索が何よりありがたいかも知れない。5つの単語までによるAND検索が可能で、たとえば、国民・正義・秩序・平和・戦争と入力すると、画面には、もちろん、憲法第9条が現われるわけだ。

## OED:Oxford English Dictionary

世界中でもっとも権威があるとされる英語辞典のCD-ROM版。この辞書自体については、本紙70号で教育学

# 外国雑誌閲覧室(3階)が24時間利用可能に ——無人入退館管理システム (カードロックシステム)を導入——

図書館では、研究者へのサービス向上の一環として、従来から要望のあった外国雑誌閲覧室の24時間利用態勢を整備するため、3階専用出入口に無人入退館管理システム(カードロックシステム)を設置し、11月から試行的に運用を開始しました。

このシステムを利用することにより、夜間や休日など図書館の閉館中でも緊急の場合は外国雑誌閲覧室の資料を閲覧したり複写することが可能になりました(ただし、館外貸出は不可)。

利用者(当面は本学専任教官に限る)はあらかじめ申請の上、専用カードの交付を受け、図書館閉館中はこの専用カードにより専用出入口から出入りすることができます。

このシステムの利用希望者は情報管理課総務係(内線2804)にお申し出ください。

部の棚橋教官が書かれているので、そちらを読んでいただきたいが、その最後のところで「最近のニュースではOEDのコンピュータ化の話もすすんでいる」とのべられていることは、多分、CD-ROMのことも含まれていると思われる。

冊子体では、検索の手がかりは見出しの単語に限定されるが、CD-ROM版では、次のような検索方法が考えられる。

- ・古語からの逆引き。
- ・外来語からの逆引き。
- ・分野や地理を限定しての検索。  
(分野・地理区分の一覧表が準備されている。)
- ・用例文中の典拠資料の出版年次や作者、作品名からの検索。
- ・引用例文中の単語の網羅的な検索。
- ・同義語の網羅的な検索。

この最後のものと同じような機能を持っているものとして、意味の説明をもとめるSE(SEnse)なる検索用のコマンドがある。

「SE="LOVE"」と入力すると、画面上には

221の単語(見出数では356)がLOVEの意味を持つものとして収録されていることが示され、その一覧が続く。

このCD-ROM、本来はIBM-PC用に開発されたものだが、本図書館では、ハードの関係からPC98対応のものになる予定。値段は少し高くなるが、中世期など古語の表示ができるようになっている。

値段といえば、冊子体とほぼ同じ、というのが、このCD-ROMの大きな特徴といえるかも知れない。全世界を相手にできる、というマーケットの大きさのたまものだろうが、本文の冒頭でふれたCD-ROMの特長の(2)からすれば、CD-ROM版の方が、冊子体よりはるかに高価、という現状はオカシナ状態といえるだろう。

## データディスクマン

前号でも少しふれたが、8センチCD用の携帯型の専用機。手のひらサイズという形状からくるキーや画面の小ささはいかんともしがたいが、その点を除

けば、専用機だけあって、操作性は抜群である。特にキーボードに慣れていないひとは、こちらでCD-ROMなるものがどんなものかを、親しんでもらうと良いかも知れない。

12センチCDの方も、本格的に普及するためには、手のひらサイズとはいわないが、ラップトップあるいはノート型パソコンのような形態を持った専用機が登場し、ディスクトップのものと同じ機能を持ち、かつ操作性に優れ値段が安い、という状況が必要だろう。

### Microsoft Bookshelf

図書館で一般の利用者に使ってもらうということにはなじまない、とする理由で今回の購入予定リストからは外れたがきわめて興味深いものを持っているので取り上げる。

ディスクマンは別として、パソコンをかいしてアクセスする方法をとっているが、前号でものべたが、それでは、特にパソコンから揃えなくてはならないユーザ

ーにとっては、大きな負担を余儀なくされることになる。CD-ROMの大きな欠点だが、そのことは、すでにパソコンのユーザーとなっている人にとっては新たなデバイスが増えたことにほかならない。そこに主眼を置くとCD-ROMはどうなるか——ということで考え出されたソフトである。

通常のパソコンの機能のひとつとして取り込んでしまおう、というのだ。Bookshelf自体は、辞書、年鑑、名言集、郵便番号簿などを収録しているが、あるプログラムを走らせているさなかに、ここからのデータを使うのである。たとえばWord Star, PC-Writeなどのワープロソフトを使って文章を書いている時、参照したいことがあれば、呼び出すことができ、必要であれば作成中の文章の中にそのままコピーする。そのさい著作権の表示も取り込んでくれる。

こんな事例を見ると、CD-ROMの利用、まだまだ端緒を開いたばかりだ、という気がしてならない。

### お知らせ

#### ☆休館

12月21日(金)より1月4日(金)まで

#### ☆貸出期間の延長

12月 1日(土)から1月14日(月)の間に貸出した図書の返却期限は、1月22日(火)とします。

#### ☆閉館時間の変更

1月 5日(土)から1月10日(木)までの間、閉館時間は次のとおりです。

平日 午後5時

土曜日 正午